

科目名 Course Name	基礎統計 I Rudimentary Statistics I			ナンバリング No.	C3-017		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小倉 宏明						
連絡方法	本館3F 研究室か、「C-Learning」で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と 到達目標	将来経済・経営系を目指す学生にとって統計学は学ぶべき必須の科目である。そのためには統計学の基本的な考え方を理解しておくことが正確な統計分析を行う上で求められる。現在の経済・経営分析には統計分析が必需とされている状況を考慮し本講義では、基礎統計の根幹をなす母集団に対する推測への信頼度を如何に捉えられるかを理解させることを主眼とする。						
授業の方法	板書を中心とした講義である。必要に応じてパワーポイントや EXCEL を用いてデータの表示や処理及び分析を行う。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	統計学の基礎的な演習問題が解ける。					
	L04						
課題に対する フィードバック	演習問題を解くための理解度確認を毎時間実施する。						
教科書/ 参考図書	大澤秀雄著『新・基礎から学ぶ統計学』 梓出版社						
履修上の留意点 やルール等	経済学部編入のための科目でもある。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各 180 分である。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト	第8回目に小テスト実施			30	
試験	(S) 統計学の処理と分析法を十分理解している。(A) 左記事項をほぼ理解している(B) 左記事項を概ね理解しているが深い内容には不十分である。(C) 左記事項の理解がやや不十分である。			70	
その他					
合 計					100

回数		授業計画
1	授業内容	基礎統計における基本的な考え方を学ぼう。統計は数値の処理ではなく、母集団に対する分析が目的であることをイメージしよう。
	事前・事後学習	[事前学習]統計に対して持っているイメージをまとめておく。 [事後学習]テキストの序章をよく読み、統計分析の意義をまとめる。
2	授業内容	統計調査の目的のために収集されたデータの処理法を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習]テキストの第1章を読み、レジユメのデータ表を作成しておく。 [事後学習]テキストの第1章を読み返し、問1.1(p.19)の度数分布表を作る。
3	授業内容	収集されたデータ系列から必要な統計指標の求め方とその意義を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習]テキストの第2章 p.28 までを読み、レジユメのデータ表を計算しておく。 [事後学習]テキストの第2章 p.28 とレジユメを読み返し、課題問題を解いておく。
4	授業内容	データ系列を見極め、分布の特性を捉える統計手法を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習]テキストの第2章 p.28-35 を読み、レジユメのデータ表を計算しておく。 [事後学習]テキスト p.28-35 とレジユメを読み返し、課題問題を解いておく。
5	授業内容	データ処理結果から母集団の情報を正しく捉える基本的な考え方を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習]テキストの第4章 p.53-60 を読み、レジユメデータの度数分布を把握する。 [事後学習]テキスト p.53-60 とレジユメを読み返し、確率分布表の統計値を計算する。
6	授業内容	統計学上最も重要な正規分布をグラフ利用により学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習]テキストの第6章を読み、レジユメの例題の計算をしておく。 [事後学習]テキスト第6章とレジユメを読み返し、巻末正規分布表の利用を把握する。
7	授業内容	前期前半の内容をレジユメの演習を題材として復習しよう。
	事前・事後学習	[事前学習]6回までのレジユメの課題を全て解きなおしておく。 [事後学習]6回までの例題と課題を総復習しておく。
8	授業内容	7回までに学んだことの確認試験(70分)と解説(20分)。
	事前・事後学習	[事前学習] 配布される準備表のデータ処理を行い、これまでの内容をまとめておく。 [事後学習] 確認試験と関連事項の復習をしておく。
9	授業内容	母集団推測のための基本的な考え方を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習] テキストの第7章(p.91-97)を読み、レジユメのデータ処理をしておく。 [事後学習] 確認試験と関連事項の復習をしておく。
10	授業内容	母集団の平均を推定する精度に対する考え方を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習] テキストの第7章(p.97-104)を読み、レジユメのデータ処理をしておく。 [事後学習] 分布のグラフの意味を捉えながら、レジユメの課題を仕上げる。
11	授業内容	母集団の代表的な特性量である母平均の区間推定法を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習] テキスト第8章を読み、分布グラフとその形状の意味合いを確認しておく。 [事後学習] 指定される課題を理解して解き、まとめておく。
12	授業内容	t分布による母平均の推定と仮説検定法の考え方を学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習] テキストの第8章を読み返し、レジユメのデータ処理をしておく。 [事後学習] 指定される課題を理解して解き、まとめておく。
13	授業内容	母平均の検定法についての3つのタイプを学ぼう。
	事前・事後学習	[事前学習] テキストの第9章(p.121-131)を読み、レジユメのデータ処理をしておく。 [事後学習] 指定される課題を理解して解き、まとめておく。
14	授業内容	母集団と標本および推定と検定について理解を深めよう。
	事前・事後学習	[事前学習] 9回～13回の例題に目を通し課題をもう一度解き直しておく。 [事後学習] 講義で解説した課題を自力で解けるようにしておく。
15	授業内容	前期後半で学んだことの確認試験(70分)と解説(20分)。
	事前・事後学習	[事前学習] 配布される準備表のデータ処理を行い、これまでの内容をまとめておく。 [事後学習] 確認試験と関連事項の復習をしておく。